

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成21年 4月5日 NO.18

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

一般会計の当初予算額は99億円で、前年対比2%増となり合併後初めて前年度予算額を上回る積極的予算となりました。投資的経費が15.9%増となり義務的経費が9.3%の減となっています。国の景気浮揚対策である地方活性化交付金などの活用で井関定住団地整備事業など懸案の多くの

3月定例会は3日から19日まで開かれ平成21年度当初予算、20年度各会計補正予算など審議しました。

CATV事業がスタート

設計・調査費に1億円

平成21年度3月定例会

平成21年度特別会計・病院事業会計当初予算

単位:万円

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	11億5,230万円
後期高齢者医療特別会計	3億6,000万円
老人保健特別会計	700万円
介護保険特別会計	17億8,250万円
簡易水道事業特別会計	5億6,830万円
飲料水供給施設事業特別会計	3,530万円
農業集落排水事業特別会計	2億3,060万円
分収育林事業特別会計	20万円
総合開発事業特別会計	50万円
特別会計合計	41億3,670万円
病院事業会計	2億6,550万円
合計	44億0,220万円

事業が予算化されました。ケーブルテレビ事業もアンケート調査結果を基に平成23年度の事業完了を目標にし、今年度設計・調査費に1億370万円が計上されました。井関定住団地整備事業は、平成20年度末に町の直営事業となり、総合開発事業特別会計として1億6550万円が計上されました。調整池、場内道路が今年度事業執行されます。4月1日からスタート

する町立病院は、寺岡記念病院を運営する陽正会に運営委託されますが、病院事業会計を新たに設け資金管理されます。県から派遣される医師の人件費や陽正会への交付金などを含め2億6550万円が計上されました。新規事業は、「安心・安全」「子育て支援」「定住・産業振興」の3つのキーワードで7億7千万円余が重点配分されました。一般会計と特別会計・病院事業会計は別表のと

平成21年度一般会計予算比較表

総額 99 億円

9.8%	9億7,215万円	町 税	自主財源
1.6%	1億5,932万円	使用料及び手数料	19.6%
6.9%	6億8,524万円	繰入金	19億4,341万円
0.0%	1万円	繰越金	
1.3%	1億2,669万円	その他分担金等の収入	
2.8%	2億7,800万円	地方譲与税	
2.6%	2億5,372万円	各種交付金	
52.6%	52億0,900万円	地方交付金	依存財源
			80.4%
			79億5,659万円
4.0%	3億9,388万円	国庫支出金	
10.0%	9億9,339万円	県支出金	
8.4%	8億2,860万円	町債(借入金)	
歳 入			

義務的経費	人件費	18億9,121万円	19.0%
46.3%			
46億1,839万円			
	扶助費	4億1,547万円	4.2%
	公債費	23億1,171万円	23.2%
	(借金返済額)		
投資的経費	普通建設事業費	12億6,556万円	12.8%
12.7%			
12億6,559万円	災害復旧費	3万円	0.0%
	物件費など	14億1,274万円	14.2%
その他	補助費等	11億7,285万円	11.8%
41.0%	積立金	2億3,635万円	2.4%
40億9,001万円	繰出し金	11億5,408万円	11.6%
	予備費	4,000万円	0.4%
歳 出			

おりですが、総計は143億220万円(28%の増)となっています。

21年度4月から

なにがどうなる

おもなもの

県立神石三和病院が神石高原町立病院に・・・公設民営にて陽正会に指定管理委託。
病院対策室は病院事業質に・・・町立病院となったので事業室に（担当は2人）
企画課が企画財政課に・・・・・・より効率的な行財政運営と実効性の高い計画策定。（ハード部門は建設課が担当。）
公民館職員が支所に・・・・・・支所機能の統一（公民館長は支所に勤務）
新交通システムがスタート・・・町営バスの運行。回数も増え、料金も一律300円に。
福祉タクシーチケットの発行・・・福祉タクシーチケット60枚。路線外タクシーチケット48枚。
公の施設の指定管理が増加・・・新たに30施設が指定管理された（更新が20施設）
（利用料金・管理費などが統一整理 若干の値上り。）
源流の里条例の制定・・・・・・集落支援員の新設。10名（報酬：12万円/月）
神石高原「夢」プロジェクト・・・「夢」創造委員の新設。15名（報酬：5万円/年）
子ども医療経費無料化・・・・・・H21～24まで。小・中学生医療無料化。
スコヤカメイトを廃止・・・・・・独居老人などの訪問調査。臨時保健士さん採用。
学校給食に地元のものを・・・・・・地産地消（小・中学校とともに学期に1回）
さんわ総合センターに楽屋設置・・・文化活動の充実。
新規就農者支援事業・・・・・・45歳以下、1年目10万円/月、2年目7万円/月。
町民まつりの開催・・・・・・合併5周年記念イベントの開催。



高小 学習発表会
ホタルを育てる体験学習を
発表する生徒たち

学校統合は23年を目標

教育委員会は、三和地区小学校統合年度を来見小学校、高蓋小学校、二幸小学校ともに23年度とする方針を発表した。
3校とも老朽化に伴う大規模改修の必要があり、高小はH20年から来小はH22年度から複式学級となる予定で、今後も児童が減少傾向にあり、児童の負担減を図るために同時期の統合は必要で今後改めて具体的な教育効果を示し、地元住民の理解を求めるとの事です。
町長部局では、地元住民の合意が必要と当初予算には計上されていません。
H22年度内の新校舎建設（H23年開校）には、今年度6月議会にて補正予算議決、名目統合議決が必要です。
児童の安全性の確保、一定規模の教育環境の整備という目的はわかりますが、もうひとつ説得力のある説明が欲しいと思います。

定額給付金交付に1億9,800万円

1・3月補正予算

1月臨時会・3月定例会においての平成20年度補正予算は表のとおりです。地域活性化対策臨時交付金4億8,364万円を活用し井関定住団地に1億2,200万円、町立病院開設準備に1億

3,660万円、4月中に交付予定の定額給付金交付に1億9,800万円など増額補正されました。また長期債（借金）の早期返済に6億2,430万円が計上されました。

1,3月補正予算

単位:万円(四捨五入)

会計名	1月補正額	3月補正額	補正後の額
一般会計	4億9,084万円	6億9,720万円	1,14億3,375万円
国民健康保険特別会計		-630万円	12億1,041万円
後期高齢者医療特別会計		-1,385万円	3億2,935万円
老人保健特別会計			3億5,887万円
介護保険特別会計		4,021万円	17億3,205万円
簡易水道事業特別会計	8,450万円	-345万円	5億6,179万円
飲料水供給事業特別会計		-334万円	億4,088万円
農業集落排水事業特別会計			2億3,844万円
総合開発事業特別会計		1億6,550万円	1億6,550万円
分収育林事業特別会計			10万円
計	8,450万円	1億7,877万円	46億3,739万円
合計	5億7,534万円	8億7,597万円	1,60億7,114万円

商工会プレミアム商品券の上乗せ補助を

木野山 定額給付金は緊急経済対策である。町内に効果をもたらすには商工会プレミアム商品券の発行も有効だ。上乗せ補助の考えはないか。

企画課長 10%の補助要請には満額回答している。今のところ追加の考えは無い。

視察研修経費補助の復活を

木野山 昨年から農業集団視察研修経費補助が廃止されている。更なる営農活動の充実・活性化には先進地視察研修が欠かせない。復活を。

産業課長 状況を見ながら考える。

消防ポンプ車の更新は

木野山 町消防団の充実・強化対策は重要だ。ポンプ車の配備状況、今後の方針は。

総務課長 指揮車4台、ポンプ車10台、積載車20台、合計34台。20年を目途に更新している。

文化財管理は

木野山 町民から預かった重要な文化財もある。管理状況、施設の整備計画は。

教育課長 古文書など整理中。今年度調査する。支所の議場を保管場所にしたらと検討している。

総合開発特別会計

木野山 チラシ・パンフレット代金24万円は。

企画課長 H21年度、約9,000万円の事業費で進入路・水源地の工事に着手する。ある程度現地が出来た段階で写真など掲載した販売促進のパンフレットを作成する。B4版で30万部の予定。

病院事業会計

木野山 県から贈与された資産は再評価し計上されている。正當な評価額か。減価償却はしないのか。

病院対策室長 資産の評価額は、県病院の現在の帳簿価格である。取得原価から減価償却をした後の簿価である。

県病院の赤字の原因のひとつは減価償却を行なったためである。評価した資産は減価償却を行なう事が本意だが、今後、赤字経営にならないようにするため、減価償却はしない。



4月1日 町立病院開院式

新年度予算に 対する想いは 目玉は何か

木野山 町民の皆様には4年間辛抱していただいたが、この度、少しは胸の張れる予算を提案したつもりだ。と言われたが新年度予算に対する想いは、目玉は何か。

町長 この度、合併後初めて義務的経費を9.3%抑え投資的経費を15.9%増しとした積極的予算を組んだ。当初予算に相応しいと思う。目玉はその辺か。

「借金・物・人」の解消は

木野山 予算的には中規模な積極的予算編成を行なった。とあるが「公債費負担適正化計画」への影響は。

町長 新年度は、町の将来を、夢を見ながら誘導する企画部門と、それを財政面でサポートする財政部門を統一する。支所は、町民課の窓口業務を一本化し住民との対応をスムーズにする。秘書室兼対策室も考えている。

新規事業に於いて

木野山 「安心・安全面」で、町立病院において、元県看護士給与の激変緩和措置の正当性は購入資産の減価償却費負担は誰が行なうのか。

木野山 支所はどうする。
町長 町民センター構想は、H21年度にビジョンを示す。
木野山 組織・人事面での具体的構想は。

町長 地域医療を守るために医療従事者の確保と信頼関係の構築が重要。財源は交付金で対応する。苦渋の選択をしたつもりだ。寛容の精神でご理解を頂きたい。
減価償却費は、施設の

100万円未満、医療機器の200万円未満は指定管理者。それ以上は基本的に指定管理者だが町と協議し決定する。

木野山 CATV事業において、事業規模と運営主体となる業者選定の道筋は。

町長 規模は、慎重に調査を行ない具体的な金額を決定する。

一定の基準をもって指名し、同じタイプのプレゼンテーションを行ない早い時期に業者決定する。
木野山 暴走族根絶推進に関する条例の具体策は。

町長 関係団体である青少年健全育成町民会議と協議・連携を密にし暴走行為を許さない社会環境作りに努める。
木野山 「子育て支援」

で、三和地区小学校統合計画の地元説明はもつと具体的に教育効果を示せ。

教育長 きつちりと方針を示し、教育効果を最優先に、ブレなく対応する。事業費は10億円。国の補助・基金・過疎債・義務教育債で対応する。

木野山 「定住・産業振興」において、産業振興と併せて「高原」をコンセプトにしたまちづくりが有効と思う。

「全国高原サミット」を提唱し交流をとおして活性化を図ったかどうか。

町長 今の時期に必要な、相手が応じてくれるかという慎重な意見もあるが、真摯に受け止め提案して行きたい。

木野山 井関地区定住団地開発に於いて、LLPが解散し事業主体が町となりました。

この事業は「団地の販売の完了」が「事業の完了」となります。対策は。

町長 国からの交付金を活用し平成21年度に事業執行する。販売をどうするかがポイントとなる。新たに専門家を核にした組織を作って対応する。

合併後、初めて前年度を上回る積極的予算です。国の緊急経済対策に呼応して多くの新規予算が組まれました。

CATV事業を始めとして懸案の事業も新たにスタートしました。地域医療体制の確立・充実を目指して町立病院も新たな一歩を踏み出しました。

思わぬ国からの景気対策ボーナスです。

これを将来の夢に繋ぐチャンスと捉え「吉」とするか。

「将軍、死の心あれば、士卒、生の気なし」
背水の陣で、英知を結集し邁進しましょう。



町の勇姿 ラッパ隊